

自治体の課題、現状

部活動を巡る状況は少子化により生徒数が減少し、部活動を維持・継続することが困難な状況が起こっている。特に運動部では団体競技において単独でチームを組むことができない学校が増加しており、様々な競技において、近隣の学校2校、または3校で合同チームを組み試合に参加している学校（チーム）も少なくない。今後の県内児童生徒の人口推移は、12年間で約5800人の減少となり、中学校（義務教育学校後期課程を含む。）単位で部活動を維持していくのは益々困難な状況となる。

県教育委員会では、令和3年度に検討会を設置し、部活動の在り方、地域連携・地域移行の在り方等について継続して検討を行い、令和5年8月に「鳥取県公立中学校等における部活動の地域連携・地域移行に向けた推進計画」を策定した。これを受けて各市町村は、協議会の設置や市町の推進計画の策定等を行い、生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動を実施できる機会や環境を確保するとともに、教員の負担軽減につながる取組を進めている。

しかし、学校、保護者、地域等へ県及び各市町の地域連携・地域移行に係る方向性や取組状況が十分に伝わっていない状況があると考えます。

また、地域移行を進めていく上での最大の課題は、県内において部活動に代わる活動を担うことができる地域スポーツ団体及び指導者が不足していることである。

地域移行関連の取組、成果

- ・県部活動コーディネーターを配置したことで、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- ・スポーツ指導者対象の研修会を県スポーツ協会と連携して研修会を実施したことで、多くの指導者に地域移行の情報を周知し、スポーツ指導における様々な分野の研修を行うことができた。
- ・人材バンクは予算措置と人材バンク設置、運用等の役割を県スポーツ課と分担して行った。地域移行の情報発信と新たな指導者の発掘につながった。

運営体制図

